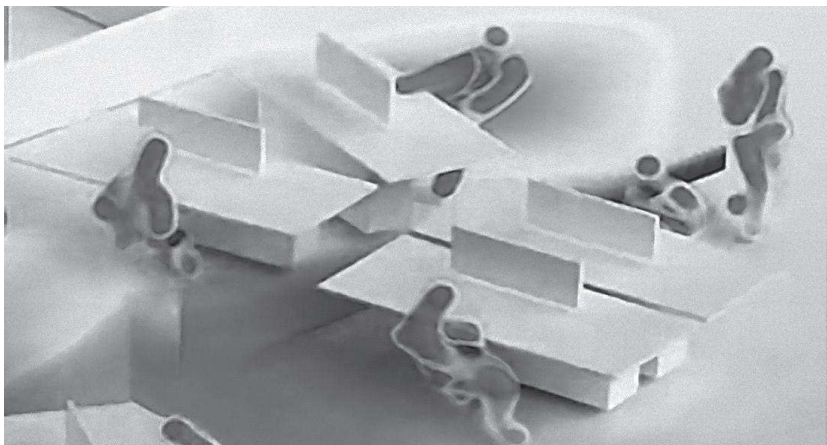


熱で人の動きを検知

配線不要のワイヤレスIoTセンサーを販売開始

高千穂交易

高千穂交易（東京都新宿区、井出尊信社長）は、熱で人の動きを検知できる配線不要のワイヤレスIoTセンサーとし



熱検知でデータを取得

人の動きを検知できるため、プライベートに配慮しながらデータを取得することが可能な点が挙げられる。個人を特定することが可能な情報は取得していないので、情報漏洩などのリスクも低減される。

マグネットで設置して電池で稼働するため、配線不要で容易に設置することが可能。オフィスへの後付けや段階的な設置も対応しているので、導入コストやランニングコストを抑制できる。AI連携により、人数、空間利用率、位置などのデータを空調管理システムなどの外部システムに簡単に接続することも可能。オフィス内の利用状況を可視化することで、オフィス空間の最適化を図れる。

て「Butler（バトラー）」の販売を開始する。コロナ禍で働き方改革が加速したが、昨今では従業員にオフィスへの出社を求める企業が増加傾向となっている。だが、多くの企業では客観的なデータで実際の出社率の状況を把握し切れていない。働き方の多様化への対応やオフィスの移動などを検討する場合には、オフィスを取り巻くデータを把握することが求められる。

高千穂交易が販売する「バトラー」は、オフィスを取り巻く客観的なデータ収集などを支援するワイヤレスIoTセンサー。最大の特長として熱で

販売先はオフィス、シェアオフィス、建設・不動産などを想定。プライベートに配慮できる利点を生かし、医療、介護、福祉関連業界への製品開発も視野に入れる。販売目標は3年間で3億円。